

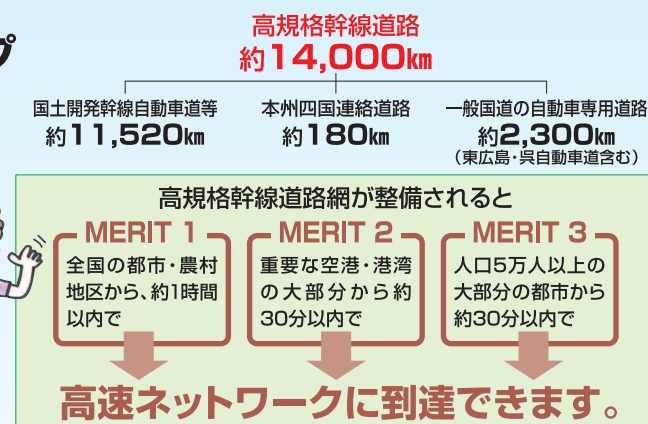
東広島・呉自動車道 事業の概要

一般国道375号は、広島県呉市から三次市を經由して島根県大田市までを結ぶ中国地方陰陽連絡の幹線道路として、重要な役割を担ってきました。中でも、呉市から東広島市にかけての沿線は、昭和59年に広島中央テクノポリス地域に指定されて以来、地域産業の技術高度化と先端技術開発の拠点を目指して開発が進んでいます。また同地域は広島広域都市圏の東部に位置しており、広島都市圏が中国四国地方の中枢機能を担っていく上でも、その発展が期待されています。そこで、同地域のこれからの発展に不可欠な社会基盤として、拠点都市間を迅速にネットワークする道路網の整備を目的に計画されたのが、高規格幹線道路である、東広島・呉自動車道です。



ゆとりある地域社会の実現をバックアップ 高規格幹線道路 東広島・呉自動車道

地域の自立した発展を促すためには、地域間の交流を支える循環型の道路ネットワークが必要です。その実現に向け全国で14,000kmの高規格幹線道路網の整備を推進しています。東広島・呉自動車道は、一般国道自動車専用道路として、ネットワークの完成に欠かせない重要な位置を占めています。



東広島・呉自動車道 事業の目的



地域の経済・産業・文化の発展を支えます

山陽自動車道、広島呉道路とともに、広島市、東広島市、呉市をつなぐトライアングル道路網を形成、3つの都市をより強く結びつけます。これによりテクノポリス計画をはじめとする各種開発計画を促進し、地域の発展に貢献します。

都市間の連携・交流が大きく広がります

東広島市、竹原市、呉市の沿線都市間の連携を促します。また、周辺地域から山陽自動車道までの所要時間が大幅に短縮されるため、より多くの人が高速道路ネットワークを利用できるようになり、広い範囲で地域間の交流が活発になります。

自動車以外の交通機関との連絡性を高めます

海の玄関口である重要港湾呉港、山陽新幹線東広島駅、広島空港などを結び、陸・海・空の交通ネットワークの連携を強めます。



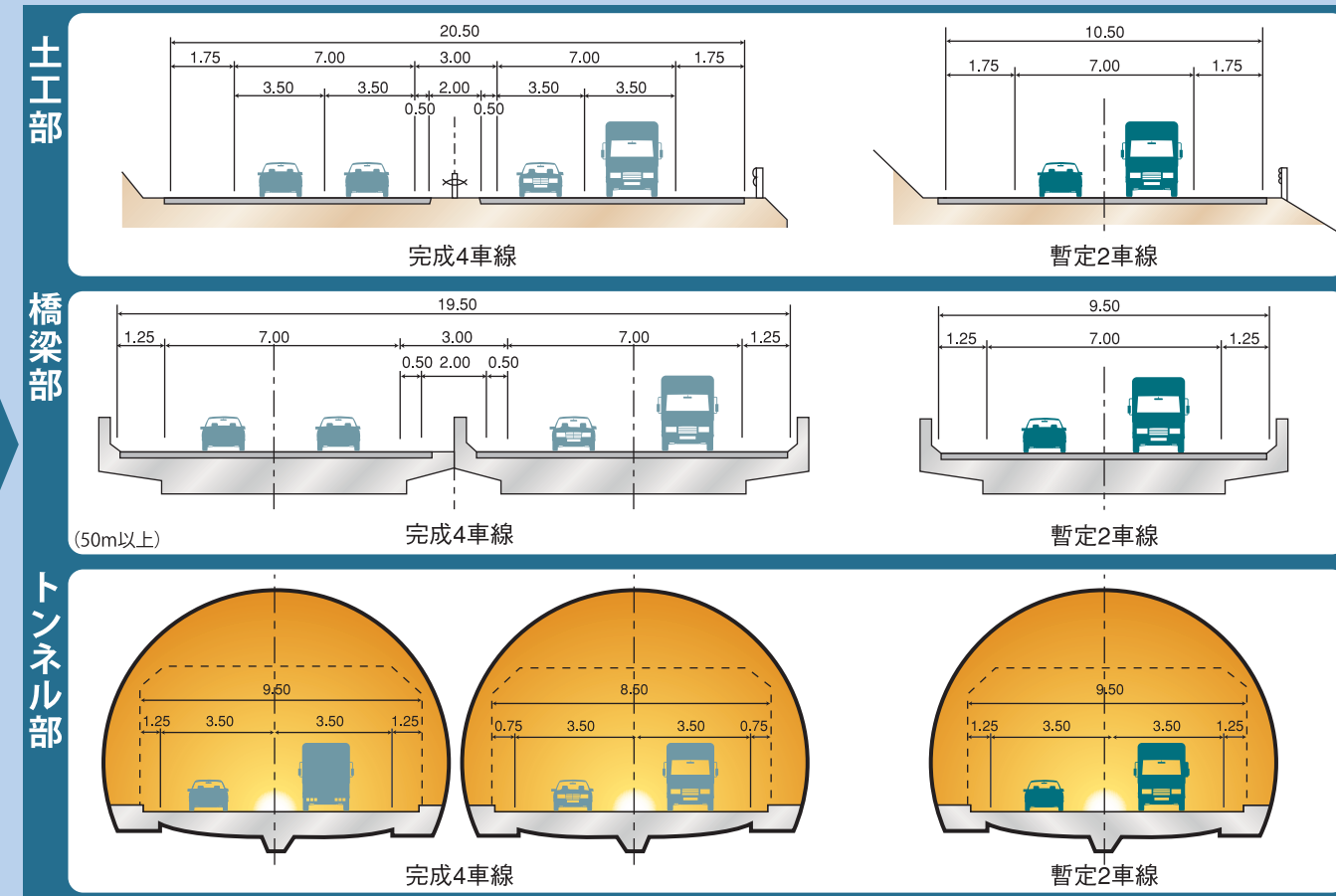
東広島・呉自動車道

計画の概要

区間	自:広島県東広島市高屋町溝口 至:広島県呉市阿賀中央5丁目
延長	32.8km
道路規格	第1種第3級
設計速度	80km/h
標準幅員	W=20.5m(土工部)
車線数等	4車線の自動車専用道路(2車線で暫定供用)

事業の経緯	高規格幹線道路決定 昭和62年6月30日
基本計画決定	平成元年8月8日
都市計画決定	平成2年11月19日(都市計画変更 平成17年2月28日)
整備計画決定	平成3年12月3日(高屋JCT・IC~馬木IC) 平成5年7月30日(馬木IC~阿賀IC)
事業化年度	平成3年度:広島県事業化(1工区、L=11.7km) 平成4年度:広島県事業化(2・3工区、L=21.1km) 平成5年度:直轄に移行(全線L=32.8km)

標準断面図

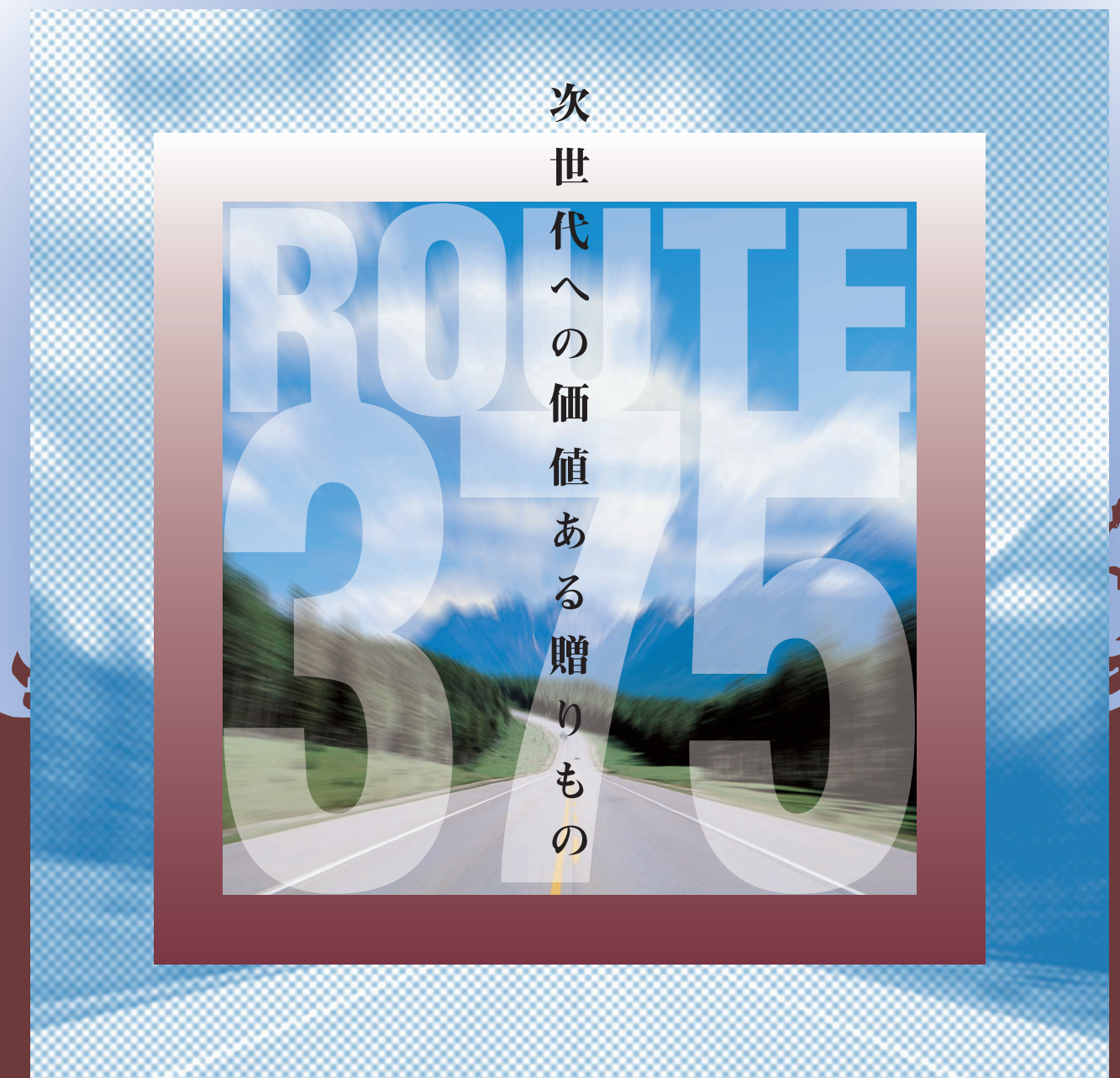


整備効果

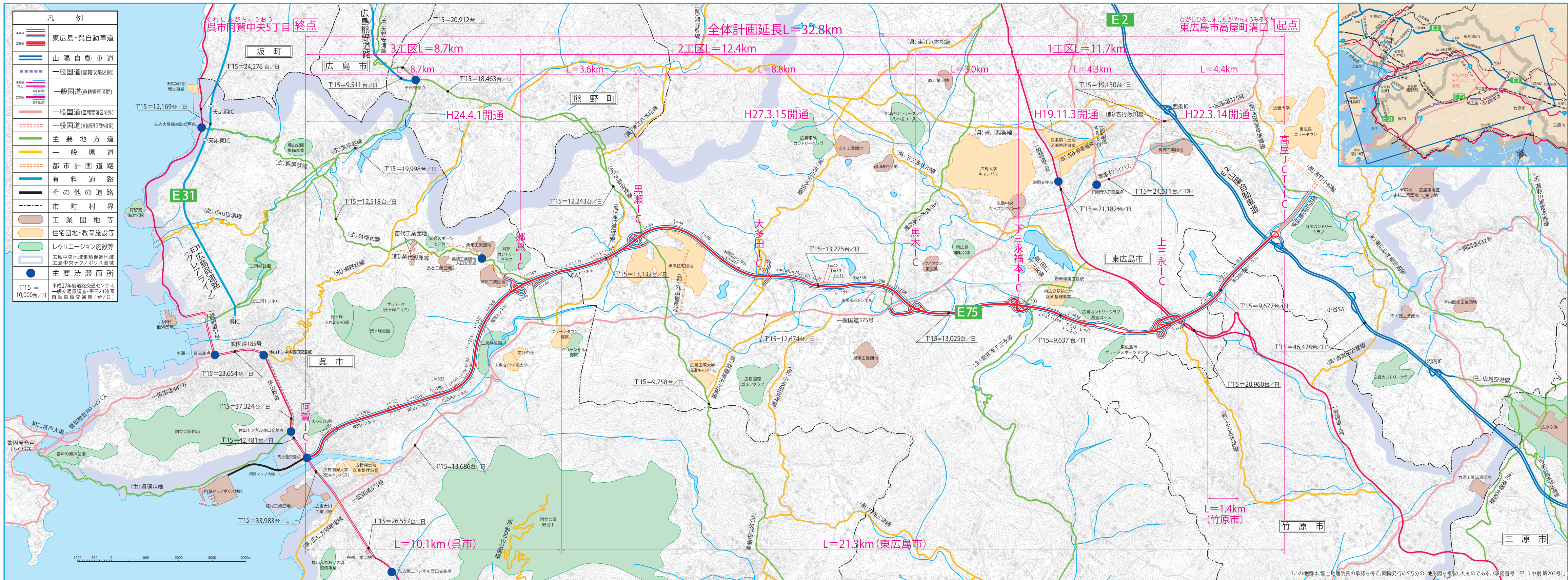
- 1 近くなる**
東広島~呉がより近く、スムーズに自動車専用道路により所要時間が大幅に短縮される上、定時性、快適さをもくとアップします。
R市役所 山陽自動車道
未開通時 約78分
現状 約45分
全線開通後 約35分
約33分短縮
約43分短縮
- 2 仲よくなる**
周辺地域の一体感を高める
既存道と連結して、より良好な道路網を形成。地域をさらに密接に結びつけます。
東広島市 高屋JCT・IC
山陽自動車道 山陽新幹線 東広島駅
上三永IC
下三永福本IC
馬木IC
黒瀬IC
郷原IC
阿賀IC
一般国道185号
- 3 便利になる**
交通機関の乗り換えもスムーズ
船舶、新幹線、飛行機相互の乗り継ぎもラクラク。ネットワークが格段にアップします。
住民の皆さんにとってはもちろん、これは訪れる人にとっても大きな魅力ですね。

東広島・呉自動車道

HIGASHIHIROSHIMA-KURE EXP.WAY



陸へ、海へ、空へ。そして地域の明日の夢につながる道路です。



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平15中環第202号)」
 ※T'15は平成27年の道路交通センサス(全国道路・街路交通情勢調査)の値を表記しています。